



乾杯



飲み物のお変りも

《打上げ参加者からの感想》



**山岡秀明氏**・・・これからますます、ここが日本のアコーディオン繁栄の元、一番中心になるところだと思います。どうぞ皆さんで協力して、これからのいい会にしましょう。

**三浦みゆき氏**・・・こんなにアコーディオン人口があ



ってこんなに安定した組織を持つてらっしゃるってことに驚きました。右手の音色がたまらないですね。バッハも大好きですけど、ドヴォルザークとかシベリウスとか何弾いてもピアノより絶対いいですね。とにかくアコーディオンは一人オーケストラですからね。で、アンサンブルって左と右手のアンサンブルをするじゃないですか、全く新しい感覚でアコーディオンをなさっているんな人の耳にたくさん入れることが私は望みなんです。

生でアコーディオンを聴いた方は少ないんですね、残念ながら、これだけ皆さま腕前持っていらっしゃるので、是非是非あちらこちらで演奏活動をなさっていただきたいと願っております。

生でアコーディオンを聴いた方は少ないんですね、残念ながら、これだけ皆さま腕前持っていらっしゃるので、是非是非あちらこちらで演奏活動をなさっていただきたいと願っております。

**柴崎和圭氏**・・・皆さんお疲れさまでした。審査員も演奏者も、それから一番大切な仕事をしている実行委員の人たちもみんな大変だと思います。今

日やるだけじゃなくてももう半年ぐらい前から準備されてここまで来たっていうのは凄く楽しいし、すごいことだなあと感じて感謝しております。審査員ともども来年も出られるといいなあと考えています。



今年人数が増えた、これは嬉しい悲鳴、ちょっときついのは時間的なことかなと思うんですけど、でもこれくらいの悲鳴上げてみたいじゃないですか。来年独奏ですよ。なので、私そこまで弾けないからとかって、そんなこと関係なく、自分なりに仕上げて、これを聴いてもらいたいっていう気持ちで来て欲しい。やっぱり審査員が一言二言書き込んでくださることがすごい勉強になるんです。

人前で弾くのも勉強。他人の演奏を聴くのも勉強。で、人と知り合うこれはやっぱり関東アコの良いところかなと思っているので、是非アコーディオンの発展につなげていけたらと思います。私たちはいつでもいますのでいつでも声を掛けていただいて、わかんないことなんでも聞いて勉強して下さい。

人前で弾くのも勉強。他人の演奏を聴くのも勉強。で、人と知り合うこれはやっぱり関東アコの良いところかなと思っているので、是非アコーディオンの発展につなげていけたらと思います。私たちはいつでもいますのでいつでも声を掛けていただいて、わかんないことなんでも聞いて勉強して下さい。

**大田智美氏**・・・朝から夜までずーっと長時間でし



たけれども、演奏を聴いていると時間が経ったのを感じさせない、もちろん書くのは大変だったんですけど、私たち審査員も楽しい時間を今日

1日過ごせたと感じています。で、会場でも口頭で申し

上げたんですけど、やっぱり本当に全体のレベルが格段にアップしているなっていうのは、この28回積み重ねてきた結果だったのかなと思います。

私自身も小学生のころからこの関東アコのコンクールに出て鍛えられて今の自分があるのかなと思います。これからまた50回100回を目指してアコーディオンの発展とともにこの会が続いて行けばいいなと思っております。

中部アコーディオンクラブ所属(名古屋)会長、平尾さん、そして銀羽さん……



今日は本当にありがとうございました。素晴らしい会で、まずプログラムを見てどこまで続くだろうと、審査員の先生大変やなって正直思いました。でも、それとともにびっくりしたのは、これだけアコーディオンのコンクールに出ようというふうに思う方々がここに集まられているっていうことに感動しました。本当に、名古屋しか知らない私たちなんですけれどもきょうはたくさんの刺激を受けて、また、実行委員の方々の動きを見ながらたいへんやなあって思って、本当にありがたい思いで帰らせていただくそんなところです。本当にありがとうございました。(ひらおさん) (「ぎんば」さんってどういう字ですか)

銀の羽と書きます。芸名ではありませんよ、本名です。もうすぐたくさんの方が来られて、僕驚きまし

た。交流会っていうのはそのまま自分に伝わってきたので、すごく我々にも刺激になりましたし、また、是非次回も、来年はソロですよ。是非参加というか弾かせていただきたいと思います。(銀羽さん)

Memery……お疲れさまでした。私は関東アコー



ディオン交流会に2回目で、前は初心者の部で出させていただき、今日は、皆さんがおっしゃるように参加人数にびっくりして、アンサンブルの部の人達の演奏をその後聴いていたんですけど、すごい楽しくていろんな楽器とみなさん合わせて練習も一生懸命していて、今後いろんな楽器と一緒にやっていきたいなと思っています。

「メメリー」のうちの私がメメで相手がリー(写真右がメメ、左がリー)です。(本名ですか)あだ名です。ニックネームで、メメモリーです。(メメさん)

今回私も初めてここに出させていただいて、こんなにもアコーディオンを愛するみなさんがいて、みんな音楽は好きなんだなあとか、楽しいんだなあとゆうのがすごく伝わって来て私自身も音楽大好きなので、もっとアコーディオンを盛り上げられたらいいなと思う感じで、さらに頑張らなきゃいけないなどの思いです。(リーさん)

ばっは亭を代表して……私はアコーディオンを先生について勉強させていただいたのは最近5年間だけなんですけれど、チェロは35のとき、多分人生70まで生きるとして、今はもっと長生きしますけれど、その人生の半分ぐらいのその年に何か楽器を選ぶとしたらチェロだろうと。なぜならば、起き上がるときに杖として使える。(笑)

13年前に目が悪くなって全く楽譜が見えなくな

っちゃったんです。それで、いよいよ失明しちゃったら、それでも女房に楽器を乗せてもらって音楽やりたいと思って始めたのがアコーディオンだったんです。で、柴崎先生について5年ほど学びましたけれど、重くて運べなくなりやめちゃったんです。

そんなことがあったんですが、どうしてもアコーディオンの世界っていうのは広いようで狭い。それ以外の音楽の世界とはあんまりお付き合いがないとゆうことで、チェロとアコーディオンの音のアンサンブル、それを皆さんに聴いていただく機会を生きている間に何とかしたいなと思っていて今日のメンバーに声をかけたんです。



その前に今年のJAAの総会のときに彼が(彼って誰)高橋君(写真の右端)、始めて1年ですという紹介で弾いていたんですけど、一緒に合奏できたらいいなと思って彼に声をかけたんです。

で、練習を始めたんですけど、どうにもメンバーがそろわない、実際に弦楽合奏なんですけどね。それを四重奏の形で集約して何とかやってみようと、最後には中尾さんに、右手と左手、左手はフリーベースでずーと合わせて4音を部分的ですけども弾いていただく。そういうふうな大変無理な編曲をして中尾さんに支えていただく形で今日皆さんに聴いていただくことになりました。

今日はチェロという形で聴いていただきましたけれど、こういうアンサンブルをたくさんいろんなところでできるようにしたらいいんじゃないかなあと考えております。(田代さん)

いつも松戸でソロばかり弾いていたんですけど、アンサンブルの方が難しかったです。(中尾さん、写真中央)

氏家道子さん…♪あ～り～が～と～♪審査員の先生方、実行委員の皆さん、参加して下さいた皆さま、そして聴きにきて下さった皆様に感謝の気持ちを込めてみんないいですか～。(ハイ)さん、はい！♪あ～り～が～と～♪関東アコの歌とは思えないような(笑)(息があってないなあ)(関東アコは歌じゃないから)はい、楽譜もちゃんと持ってきているところが私らしいですよ。「東北から、自動車賃、遠くから時間を掛けて来た、きっとよく頑張ったねえ」と去年と同じように奨励賞もらえるだろうと(笑)でも皆さん、ソロで出たときに入選したんですよ。(拍手)歌伴ではないので歌わないでください。私が好きなように弾きますので決してうたわないでく



ださい(笑)上手い、下手とか解釈はしないでくださいね。と「津軽のふるさと」を演奏。♪前奏～(「歌わないで～」と言いながら演奏する氏家さん)。指名権でいいでしょうか、では橋本さん。

橋本さん(氏家さんの右となり)…東北の「アコー



ディオンジャンボリー」っていうのは今度6回(はい)2年に1回ぐらいのサイクルで開催していて、もともと、関東アコーディオン演奏交流会の実行委員だった遠藤さんという方が、郷里の仙台に帰られてアコーディオンを広めたいという想いで、こんないい人に巡り合ひまして、氏家さんすごい上手になったね。

皆さん氏家さんの蛇腹見ました、初めて氏家さんに合ったときとてもいい楽器なのにジャバラがこの辺(手元で)ちょこちょこ動いていたんですけど、今日はたっぷり使っていて、氏家さんは東北だけじゃなくて関東にも何度もお越しいただいて交流していただいて、勉強されていたんだと思うんですね。

それに、東北は先生を見つけるのが大変なんですよ。先生に習いに行くのも車で何分でしたっけ(高速を使って40分、その先生と別れました)なんで別れたの。(「津軽のふるさと」は「リンゴのふるさと」は～”こういうふうにはテンポを崩さずに弾きなさいって、私はリンゴ～のと、ここはたっぷり弾きたかったんですよ、で、先生さようならしました)そういう選択力のある方です。



飛び入りで演奏する小神さん▲

東京アコーディオン研究会・・・実は、エースがいないときに2位と3位を取ったんです。で、今回はエースがいてくれて、でも最後の練習、19日と今日来たという感じです。エースがいなかったのでもろんなところがなかなか合わなかったんですね。今日はいろいろ「リット」してくれたお陰で2位を取ることができました。もちろん皆さんが今まで練習して下さったおかげだと思いますけれど、思いがけずに2位が取れました。

スフル・スフレ・・・スフル・スフレというユニット名で「ロードのタンゴ」を弾かせてもらいました。思いがけず



入選をいただきましたので嬉しいです。これからも毎年参加させていただきますのでよろしく願います。

アミーゴ・・・今回は、この曲だけで練習してきたっ



ていうか、他の曲をやらないで、この曲をやってきたんですけども。最後の方は当日に落ち着けば、うん、何とか頑張れるんじゃないのってところで最後の練習は終わったんですけど、今日はちよつとね、

やっぱり緊張感っていうのは練習していないと取れないもんですね。練習不足はあるんですけども、賞をいただいてすごく今回は嬉しかったです。ありがとうございます。(中川さん)

ブチ・マルカート・・・3人で2年半ぐらいやって、家



も近いものですから、声を掛けあってちょこちょこ練習しているその成果が今年の結果に出たかなと思っています。北村さんがちよつと、アコーディオンが重たくなって弾けなくなった時に私たちが鍵盤ハーモニカをプレゼントして押し付けて、いまやってもらっています。(とてもいい音でね、皆さんに褒めてもらっています/北村さん、写真中央)。

アコーディオンの復帰も間近なんですけど、鍵盤ハーモニカの他に3つ楽器を使えるようになりました。皆さんもご存知の立川の「かるふる」で1月19日にコンサートを聞くことになりましたのでよろしかったらみなさん是非お越しください。ありがとうございました。(織田さん)

### アンサンブル小川・・・タンゴのリズムを覚えようとり



リズムを中心に練習してきたので、リズムには少し強くなったんじゃないかなと思っています。また来年も参加したいと思います。(北村さん)

### 東京アコーディオン研究会・・・出場は初めてです。



1年前に楽器を手に入れて修理にだしてまだ練習始めていなかったころ、何か聴きたいなと思って関東アコを聴きに行って、今の東京アコーディオン研究会に誘われて入りました。でも2位に入ってうれしいです。(百瀬さん)

### 横浜アコ・・・今回横浜アコーディオン愛好会と、



鶴川クレーン(有)に参加させていただきました。初めてコンクールに出たのでとっても緊張して、先日JAPCの夏祭りにでたとき指がもつれたんですけども、そのときよりもつれちゃって、すごい緊張しました。で、次回は出たいかと言われると、今、ちょ

っと“う～ん”というところですけど、練習続けて次回にも出られるように頑張ってみたいと思います。

あと今日は、原田さんの演奏が聴けたのがとても嬉しくて、「ホメリ」というところで、いつも都丸さんというアコーディオニストと一緒に「カリマト」というライブとかに行かせていただいているので、今日はソロで原田さんの演奏を聴くことができとても嬉しかったです。(金谷さん)

### 高橋さん・・・本当に出逢いが多くて何というか、ち



よつと消化しきれないというかね、まず田代さんに目を掛けていただいてこういう場までとり着けたことに本当に感謝いたしております。

僕も病気を何年前にしまして、生きるか死ぬかというところまで行ったんですけども、まあ生き延びてそれでも暗闇の中において、やっぱり何もすることが見つからなかったんですけども、そこでちよつとしたことでアコーディオンという楽器に出会いまして、そこから今までになかった出逢いと音楽を楽しむことになり、この業界に携わっている人たちに本当に感謝の気持ちでいっぱいです。拝みます。(笑)これからもちよいちよい出てくるかとは思いますが、どうぞよろしくお願いいたします。

♪ 飛び入り演奏の原田忠さん(ゲスト演奏者/左)とトンボ楽器(株)真野照久社長(右)。



閉会の挨拶(実行委員長塚本五郎)・・・今日はお疲れさまでした。打上げにも50名を超える方が参加してくださいました。まだ名残尽きないけれど時間です。1本締めで閉めましょう、よ～おポン!